

沖縄振興交付金事業推進費（内閣府政策統括官（沖縄政策担当）・沖縄振興局）

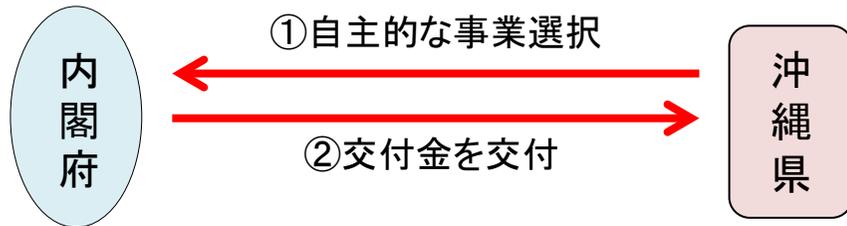
令和6年度予算額 762.6億円
（令和5年度予算額 758.6億円）

- 沖縄の実情に即してよりの確かつ効果的に施策を展開するため、沖縄振興に資する事業を県が自主的な選択に基づいて実施できる一括交付金（平成24年度創設、沖縄振興特別措置法に明記）。
- 「沖縄振興特別推進交付金」と「沖縄振興公共投資交付金」に区分。

沖縄振興特別推進交付金 （ソフト交付金）

6年度予算額 394.5億円
（5年度予算額 390.5億円）

沖縄振興に資するソフト事業などを対象とし、移し替えせずに内閣府で執行する沖縄独自の制度。



< 交付率 > 8 / 10

< 主な対象事業 >

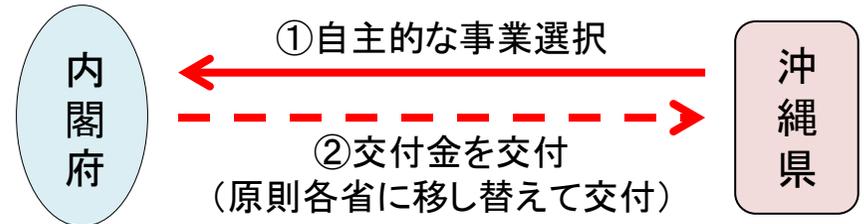
沖縄の自立的・戦略的発展に資するものなど、沖縄の特殊性に基因する事業

- ・ 観光の振興
- ・ 情報通信産業の振興
- ・ 農林水産業の振興
- ・ 雇用促進
- ・ 人材育成 など

沖縄振興公共投資交付金 （ハード交付金）

6年度予算額 368.1億円
（5年度予算額 368.1億円）

各府省の地方公共団体向け投資補助金等のうち、沖縄振興に資するハード事業に係る補助金等の一部を一括交付金化。原則各省に移し替えて執行。



< 交付率 > 既存の高率補助を適用

< 主な対象事業 >

- ・ 学校施設環境改善（文部科学省）
- ・ 医療施設等施設整備（厚生労働省）
- ・ 農山漁村地域整備（農林水産省）
- ・ 社会資本整備（国土交通省） など

ソフト交付金の主な活用事業例

離島児童生徒支援センター整備事業【県】

- 高校のない離島出身者の経済的負担の軽減を図るため、沖縄本島に高校進学する生徒の寄宿舎と交流機能を併せ持つ施設を整備
- 総事業費：10.3億円（国費：8.2億円） ※H24～27年度
- H28年1月 開所（愛称：群星寮）



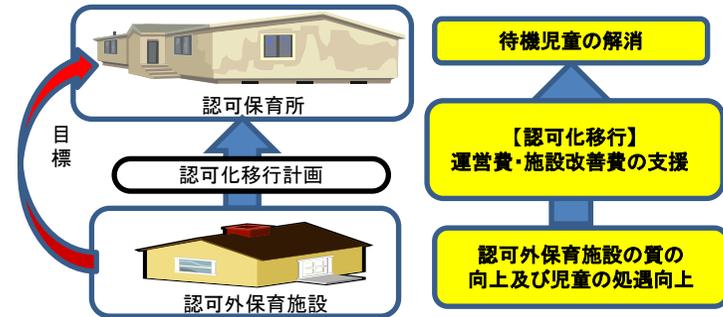
農林水産物条件不利性解消事業【県】

- 地理的不利性から生じる流通コストの軽減のため、輸送費の一部を補助するほか、持続可能な流通ネットワークを構築するための取組を支援
- R6年度：19.1億円（国費：9.6億円） ※H24～継続中



認可外保育施設保育サービス向上事業【県】

- 認可外保育施設の認可化促進による施設の質の向上を図るための施設改善、経営指導、児童の処遇向上等の取り組みを行う市町村を支援
- R6年度：2.9億円（国費：2.3億円） ※H24～継続中



村立診療所人工透析施設整備事業【伊江村】^{いえ}

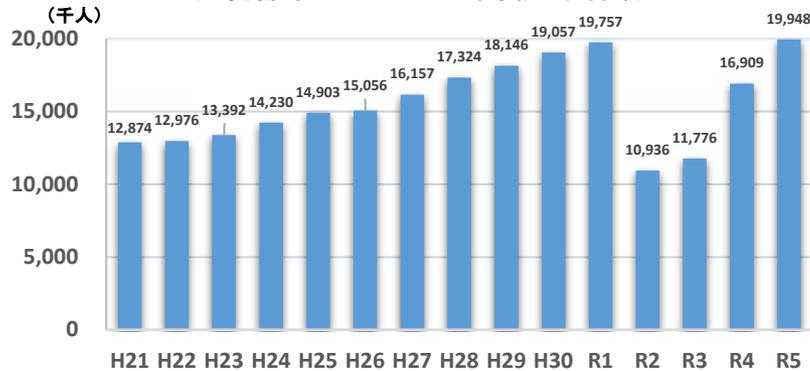
- 離島であるため、本島に定期的に通う必要がある透析を必要とする患者の負担を軽減するための人工透析施設を整備
- 総事業費：4.9億円（国費：3.8億円） ※H24～25年度
- H26年4月 開所



沖縄のハード交付金の主な活用事業例

- 沖縄都市モノレールは令和元年10月1日に首里駅～てだこ浦西駅までの延長区間を開業しており、今後も利用者の増加が見込まれることから、定時定速性や快適性を確保するため、3両編成車両を導入し輸送力の増強を図る。
令和6年度事業費 59億円(うち国費48億円)
- 近年の乗客数の増加、路線延伸や那覇空港第二滑走路供用に伴う更なる乗客数の増加への対応が喫緊の課題。
- 輸送力を増強するため、現行の2両編成を3両編成化し、併せて運行に必要な車両基地の拡張整備等を実施。
3両編成化の加速化のため補助率引き上げ。
- 令和5年8月10日に3両化車両の運行開始。(当初は2編成にて運行)
- 令和5年度、年度別乗客数が過去最高を更新。

沖縄都市モノレール 年度別乗客数



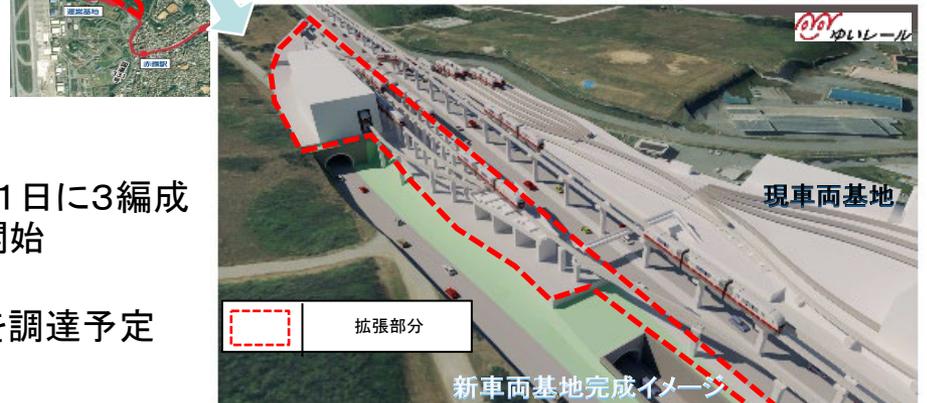
空から見たモノレール沿線

【沖縄都市モノレール 概要】
 ○起終点: 那覇市字鏡水～浦添市前田
 ○延長: 17.0 km
 ○駅数: 19 駅
 ○年間乗客者数: 1994万8279人(令和5年度)
 ※延長区間が令和元年10月1日開業
 路線延長: 約4.1km(首里駅～てだこ浦西駅)



○令和6年4月1日に3編成目が運行を開始

○合計9編成を調達予定



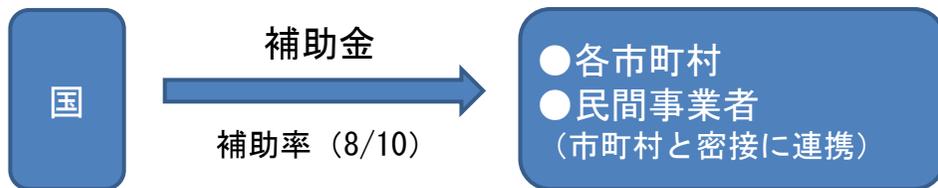
沖縄振興特定事業推進費（内閣府政策統括官（沖縄政策担当））

令和6年度予算額 **85.0億円**
（令和5年度予算額 85.0億円）

趣旨・目的

- 沖縄振興特別推進交付金（ソフト交付金）は、県及び市町村が事業を計画的・継続的に実施するための財源として、客観基準に基づき、毎年度、県及び市町村に安定的に配分されるものであるため、多様な地域課題・政策課題への迅速・柔軟な対応が困難なケースもあり得ます。
- 沖縄振興特定事業推進費は、このようなケースに備え、ソフト交付金を補完し、
 - ・機動的に事業を推進するための財源として、臨機応変な財源捻出が困難な市町村が実施する事業への支援
 - ・市町村が認定する公共性を有する事業を推進するための財源として、市町村と密接に連携する民間事業者が実施する事業への支援を行います。

資金の流れ



事業概要

- ◆補助の根拠：予算補助
- ◆補助対象者：市町村
市町村と密接に連携して取り組む民間事業者
- ◆補助率：8/10
- ◆補助対象事業：ソフト交付金の対象事業（沖縄の振興に資する事業及び沖縄の特殊事情に起因する事業）のうち、以下の要件を満たすもの

市町村補助金

- ① 機動性要件
（多様な地域課題・政策課題に対応するため迅速・柔軟に実施する必要がある事業等）
- 先導性要件
（他の市町村にも広げていくことが望ましい事業）
- ② 又は
広域性要件
（事業の効果が当該市町村にとどまらず広域に及ぶと見込まれる事業）

民間補助金

- ① 公共性要件
（多様な地域課題・政策課題に対応するための公共性を有する事業等）
- 先導性要件
（他の市町村にも広げていくことが望ましい事業）
- ② 又は
広域性要件
（事業の効果が当該市町村にとどまらず広域に及ぶと見込まれる事業）

注）複数年度にわたる事業については、初年度は要件①②を満たすものとし、2年度目以降は要件②を満たすもの。

令和5年度における沖縄振興特定事業推進費の活用事業例

R5年度予算額 : 85.0億円
R5年度交付決定額 : 80.5億円 (44事業)



ワーケーション拠点施設の整備 (名護市)
R5交付決定額 : 1.6億円

田空ハーソー公園の機能強化 (本部町)
R5交付決定額 : 2.9億円

具志川総合運動公園サブアリーナ等の整備 (うるま市)
R5交付決定額 : 2.2億円

沖繩こどもの国の機能拡充 (沖繩市)
R5交付決定額 : 10.0億円

音楽屋外劇場等の整備 (宜野湾市)
R5交付決定額 : 12.8億円

石垣市中央運動公園スタンド屋根の整備 (石垣市)
R5交付決定額 : 0.3億円

西表島世界遺産センターの整備 (竹富町)
R5交付決定額 : 0.5億円

西崎運動公園屋内練習場の整備 (糸満市)
R5交付決定額 : 11.6億円

「崇元寺跡」の保存活用に向けた整備 (那覇市)
R5交付決定額 : 1.5億円

「スポーツアイランド 沖縄」の形成 (公益財団法人日本バスケットボール協会)
R5交付決定額 : 6.4億円

泊漁港の再整備 (沖縄県漁業協同組合連合会・那覇地区漁業協同組合)
R5交付決定額 : 3.7億円

島ぜんぶでおーきな祭 関連事業 (吉本興業HD株式会社)
R5交付決定額 : 0.9億円

肉用子牛運搬船の整備 (琉球海運株式会社)
R5交付決定額 : 1.9億円

再生可能エネルギーを活用した農業振興の推進 (株式会社EM研究機構)
R5交付決定額 : 2.2億円

バナラビーンズ生産体制の整備 (合同会社ソルファコミュニティ)
R5交付決定額 : 0.6億円

中小企業振興会館の整備 (那覇商工会議所)
R5交付決定額 : 1.0億円

ICTを活用した働き盛り世代の健康増進体制構築 (沖縄セルラー電話株式会社)
R5交付決定額 : 1.5億円